

令和4年度 第1回岩手県 I L C 推進本部会議

日時：令和4年5月30日(月) 9:45～10:15

(庁議終了後)

会場：第一応接室

1 開会

2 本部長挨拶

3 報告

(1) I L C 計画に係る国内外の動向 1 ページ

(2) 令和3年度における取組実績 2 ページ

4 議事

令和4年度における I L C 推進の具体的な取組内容 11 ページ

5 その他

6 閉会

1 ILC計画に係る国内外の動向

〔2020年〕

8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ILC国際推進チームが設立され、ILC準備研究所設立に向けた活動を開始 ・ 東北ILC事業推進センターが発足し、建設準備のための実務的な調査検討を開始
----	--

〔2021年〕

6月	ILC国際推進チームが、ILC建設開始に向けて、技術開発と政府間交渉のサポートを目的とする「ILC準備研究所提案書 ^{※1} 」を公表 高エネルギー物理学研究者会議・KEKが、ILCに関する有識者会議及び日本学術会議から指摘された課題の解決に向けた取組の現状や今後の方策と見通しをまとめた「ILC計画に関する主な課題について」を公表
7月	文部科学省が「ILCに関する有識者会議（第2期）」を開催（令和3年7月29日から令和4年1月20日まで全6回の会議を開催）
12月	令和4年度政府予算案決定【文部科学省：4.8億円】 （令和3年度と同額） <ul style="list-style-type: none"> ・ 米欧との先端加速器の低コスト化に関する共同研究 3.2億円 ・ ILC関連経費（KEK運営費交付金の内数） 1.6億円

〔2022年〕

2月	有識者会議（第2期）が「国際リニアコライダー（ILC）計画の諸課題に関する議論のまとめ ^{※2} 」を公表 KEKが「有識者会議の結論を受けたILCの進め方について ^{※3} 」を公表
4月	ICFA（国際将来加速器委員会）が「ヒッグスファクトリーの進展とILCに関するICFAステートメント ^{※4} 」を公表

※1 【ILC準備研究所提案書】 ILCに係る技術的作業と政府間交渉を並行して進めるため、関係国の研究所が共同し、準備研究所を運営することを提案したものの。同研究所のプロセスは4年としている。

※2 【ILC計画の諸課題に関する議論のまとめ】 現時点では、提案された規模でのILC準備研究所段階への移行は時期尚早。関係国の厳しい財政事情等も踏まえると、ILC計画は再検討する時期。再検討の間、ILC計画は準備研究所にこだわらず、立地問題を一旦切り離し、段階的に研究開発を展開すべきとしたもの。

※3 【有識者会議の結論を受けたILCの進め方】 ICFAでの意見交換等を通してヒッグスファクトリー実現に向けての世界的な研究戦略再構築に関する検討を進める。ILC国際推進チームと協力し、ILC準備研究所に代わって当面必要な加速器の開発研究を行う枠組みにより共同研究を行うことをICFAに提案する。共同研究を通してILCを含めた次世代加速器の進展のために重要な技術開発等を図るとしたもの。

※4 【ICFAステートメント】 ILC国際推進チームの枠組みにより、日本でILCを更に進展させ実現させることを目指したグローバルな研究者コミュニティの活動の調整に引き続き取り組む。リソースの利用可能性と国際的な議論の進展を評価するため、今後一年間の進展を注意深く見守るとしたもの。

2 令和3年度における取組実績

1 国への働きかけ、国民・県民理解の増進

(1) 国への働きかけ等

ア 政府予算要望

6月17日（Web面会）

文部科学省（高橋ひなこ 副大臣）、内閣府【科学技術政策】（井上信治 大臣）、内閣府【地方創生】（坂本哲志 大臣）
11月29日

文部科学省（田中秀幸 副大臣）、内閣府【地方創生】（野田聖子 内閣府特命担当大臣）、復興庁（西銘恒三郎 大臣）、
財務省（鈴木俊一 大臣）

■令和4年度政府予算等に関する提言・要望（11月29日）

《 要望事項 》

1 国際リニアコライダー（ILC）の実現

ILCの日本での実現を目指し、令和4年度のILC準備研究所の設立に向けて積極的に対応するとともに、日本政府が主導し、国際的な議論を更に推進すること。また、ILCを我が国の科学技術の進展、さらに、産業・情報・技術のネットワーク形成、震災復興、成長戦略、地方創生等の柱に位置付け、関係省庁横断の体制を強化し、国内議論を加速させるよう要望します。

イ 全国知事会 国の施策並びに予算に関する提案・要望

6月（今回、初めて「ILC」が具体的に盛り込まれた）

ウ 北海道東北地方知事会 定期提言

8月、11月



11/29 財務省 鈴木俊一大臣との面会

海外研究機関訪問：中止

国際会議ILCX2021（10月つくば市）：完全オンライン実施

※新型コロナウイルス感染症の影響による

(2) 国民・県民理解の増進

ア 講演会（一般対象）の開催

4月28日 ILC講演会（オンライン併催）（22都道府県：783名）
（岩手県国際リニアコライダー推進協議会と共催）

イ イベントへの出展

7月27日・28日 「東北ハウス」岩手県デー（東京都）
10月2日 いわたの森林の感謝祭（釜石市）
10月31日 地域材ふれあい体験会（奥州市）
12月1日～3日 VACUUM2021真空展（東京都）（オンライン併催）
（オンライン出展 11月24日～12月10日）

【中止】

4月 ニコニコ超会議（千葉県）
7月 いわてまるごと科学・情報館
8月 いわて銀河フェスタ
9月 県農業研究センター一般公開
10月 県工業技術センター一般公開

【延期】

5月 SF大会（福島県）：R4年度に延期

ウ 県内プロスポーツチーム等と連携したPR（試合会場でのブース出展）

5月16日 いわてグルージャ盛岡（盛岡市）【奥州市と連携】
10月23日 釜石シーウェイブスRFC（盛岡市）
11月28日 いわてグルージャ盛岡（盛岡市）



4/28 ILC 講演会



12/3 VACUUM2021 真空展



11/28 いわてグルージャ盛岡ホームゲーム

エ 県内商工関係団体機関紙等による情報発信 6団体

- ・盛岡商工会議所（毎月3,800部）
- ・岩手経済同友会（毎月500部）
- ・岩手県中小企業団体中央会（毎月900部）
- ・岩手県経営者協会（毎月450部）
- ・いわて産業振興センター（隔月1,000部）
- ・岩手県商工会連合会（4半期11,600部）



11/18 久慈市立山形中学校

12/1 山形県立米沢興譲館高等学校
オープンラボ見学

オ 地域住民を対象とした説明会等の開催

[ILC解説セミナー開催]

12月26日 一関市（22名）、奥州市（27名）

【中止】

1月22日 一関市、1月23日 気仙沼市
2月12日 大船渡市



企画展示「宇宙×ILC」巡回展示



8/8 夏休み工作会（遠野市）

カ 岩手ILC連携室オープンラボの公開

来場者：15団体、228名

（県内事業者、県内外中学校・高等学校 等）

キ 企画展示「宇宙×ILC」【県南広域振興局（国立天文台水沢と連携）】

7月～ 県南地域7市町で巡回展示

[関連イベントの開催]

7月29日 幼児～小学生を対象としたワークショップ「ブラックホールから飛び出すジェットのびっくり箱をつくろう！」を開催（西和賀町）

8月8日 小学生を対象としたワークショップ「夏休み工作会『銀河ゴマ』を作ろう」（宇宙やILCについて学び、銀河を模したコマを作成）を開催（遠野市） など

ク 盛岡駅前歓迎塔への看板掲出【盛岡広域振興局（盛岡観光コンベンション協会と連携）】

盛岡の玄関口である盛岡駅前には看板を掲出し、来県者及び市民へのPRを実施



盛岡駅前看板掲出

2 受入体制の整備

(1) 国際研究拠点の形成支援（まちづくり・インフラ整備分科会）

ア 港湾・道路

県内港湾の活用を見据え、機材搬送に係る広域的な搬送計画を検討（東北ILC事業推進センターの取組と連動して実施）

- ・ ILC建設に係る機材の搬送を想定した主要道路の支障箇所（歩道橋、交差点の通行など）の洗い出しを実施

〔意見交換〕 7月8日 研究者・宮城県・関係市

- ・ ILC大型機器の搬送に係る橋梁耐荷力調査を実施

イ まちづくり

- ・ ILCを契機とした地域の状況に応じた居住や交通、エネルギー等に関する「ILCまちづくりモデル」の研究（岩手大学、東北ILC事業推進センター、一般社団法人先端加速器科学技術推進協議会（AAA）との共同研究）に着手し、市町との意見交換会を開催

〔意見交換〕 11月11日、1月11日

ウ 環境アセスメント

- ・ 環境アセスメントの実施に係る関係機関の検討状況を踏まえた、庁内関係部局との情報共有・意見交換を実施
 - － KEK、アセス有識者、研究者との意見交換（12回）
 - － 庁内関係部局との情報共有（5回）



大船渡港（永浜・山口地区）



11/11 まちづくりに関する市町との意見交換会

(2) イノベーションの創出（産業振興分科会）

ア 加速器関連産業の集積促進

(ア) ILC技術セミナーの開催

ILCの動向や最新の加速器技術に加え、加速器の産業利用等、幅広く加速器についての情報を提供

6月30日（47名）、8月25日*（87名）、10月18日*（180名）、12月22日*（134名）、
2月15日*（132名） ※オンライン開催

(イ) 加速器コーディネーター等による支援

- ・ 県内企業と研究機関・大手企業等とのマッチングを実施（KEKなどから4件の受注）
- ・ 次世代放射光関連等を受注した企業について、受注後の製造・据付までの継続した技術支援を実施
- ・ いわて産業振興センターが初めてKEKから受注（陽電子源冷却装置）し、KEKと共同開発を開始



6/30 ILC 技術セミナー

イ 加速器関連先端技術を担う専門人材の育成

(ア) いわて加速器関連産業研究会「チャレンジ部」

エンジニアや設計者向けの実習などの技術支援を実施

3月22日（1社2名） **【中止】** 1月27日

(イ) いわて加速器関連産業研究会「加速器関連産業参入実践塾」

加速器コーディネーターが、営業のノウハウに関する講義、県内企業が所有している技術と研究機関等とのマッチングを実施

7月30日（5社7名）

参加企業に対し、コーディネーターが個別訪問し、フォローを実施



7/30 加速器関連産業参入実践塾

ウ イノベーション創出拠点の形成

- ・ ILCを核としたイノベーション創出拠点の形成に向け、岩手医大・岩手大・岩手県立大・いわて産業振興センター・県により、大学間・産学連携による共同研究等について意見交換（4回）を実施し、各大学の研究テーマを取り上げたILC技術セミナーを大学と共同開催

(3) ILCによるエコ社会の実現（グリーンILC分科会）

ア 岩手大学や民間企業との共同研究の推進

- (ア) ハスクレイ（蓄熱吸着材）による排熱のオフライン輸送のフィールド実験（温泉の排熱を輸送し、イチゴハウスでの栽培に利用）を実施し、イチゴハウスの暖房に使用する灯油の削減効果を確認
- (イ) ドローンによるレーザー測量データから森林資源解析を実施し、ILC地上関連施設等の整備時における県産木材の利活用方を研究



ハスクレイによる温泉の排熱利用のフィールド実験

- (ウ) 第18回日本加速器学会年会（8月9日～12日）で論文発表

- ・「吸着式蓄熱材を用いた大型加速器からの排熱利用に関する研究(2) ～蓄熱材ハスクレイによる排熱利用の実証試験～」
（産業技術総合研究所、高砂熱学工業(株)、(株)WING、東日本機電開発(株)、岩手大学、岩手県）
- ・「ILC候補地域の林産業の活性化に向けた森林資源等解析」（アジア航測(株)、岩手大学、岩手県）

イ グリーンILC普及啓発

- ・グリーンILCへの理解促進のため、セミナーを開催し、一関市のバイオマス資源利用によるまちづくりや森林整備の取組等について情報を発信

10月15日～29日 第8回グリーンILCセミナー

(YouTube公開、申込100名)

第9回グリーンILCセミナー（令和3年度2回目）：中止

第8回グリーンILCセミナー

(4) 外国人研究者等の受入環境整備（外国人居住環境分科会、外国人研究者等の医療分科会、外国人研究者等子弟の教育分科会）

ア 外国人研究者等の生活支援に向けた検討

外国人研究者等の受入の窓口となる国際支援オフィスの体制案の作成に向けた予備調査を実施

10月 国内研究機関や先進自治体での外国人受入れに関する事例調査※（カブリIPMU、KEK、つくば市、柏市）

※行政手続、医療、教育、保育等におけるサポート体制、課題等（イ、ウとも関連）

イ 医療分野における外国人研究者等を支援する地域の体制づくり

11月27日、28日 医療通訳者養成研修会開催（のべ28名）【県南広域振興局】



11/28 医療通訳者養成研修会

ウ 外国人児童・生徒の受入れ環境整備

- ・分科会及びILCに関する外国人児童生徒教育環境整備連絡協議会において、外国人研究者等の子弟の既存校での受入課題（日本語指導等）や対応方策等を検討
- ・インターナショナルスクールの設置検討準備のため、国際プロジェクトとして進行中であるITER（国際熱核融合実験炉）関連施設の研究者の子弟が通う六ヶ所インターナショナルスクール（青森県）の運営状況等を調査



六ヶ所インターナショナルスクール（幼少部）

(5) 交流人口の拡大、科学技術教育水準の向上（地域資源活用分科会、外国人研究者等子弟の教育分科会）

ア 北上サイトの魅力の発信・PR

(ア) 国内外に向けた情報発信

- ・ SNSやホームページによる岩手の食や観光等の情報発信
(R4. 3. 31時点)

【海外向け】 THE KITAKAMI TIMES

(23回発信)

Twitter「Iwate & the ILC」

(16回発信、フォロワー357人)

【国内向け】 Twitter「岩手&ILC」

(1148回発信、フォロワー1,404人)

Facebook「岩手&ILC」

(175回発信、フォロワー1,210人)

- ・ 4月22日 アナ・ポラック＝ペトリッチ駐日スロベニア共和国特命全権大使の知事表敬、県内ILC関係者による取組紹介及び意見交換
- ・ 10月26日～29日 国際会議ILCX2021【再掲】（オンライン開催、592名）
 - － バーチャルブースを設置し、本県の食、観光、生活情報等の魅力を発信
 - － サイエンスコミュニケーションに関するセッションに参加し、地域での取組等を紹介



4/22 駐日スロベニア共和国大使の知事表敬、県内 ILC 関係者との意見交換



ILCX2021 バーチャルブースでの情報発信

平泉黄金文化と関連付けたILC講演会（11月）：中止

→ 令和4年度開催について検討

(イ) PRグッズ作成

大船渡商工会議所と連携し、地元事業者の企画提案によるPRグッズを作成

- ・ 被災松のはがき（東日本大震災で被災した大船渡の松を再利用）
- ・ 木札型キーホルダー（県産の槐（えんじゅ）の木を使用）



木札型キーホルダー



被災松のはがき

イ ILCに関連する教育・人材育成の推進

(ア) ILC推進モデル校、高校生科学・工学コンテスト等

- ・コンテスト参加希望校の研究活動のフォローアップのため、研究者によるアドバイスを実施

11月30日 盛岡第一高等学校（5名）

- ・高校が独自に開催する講演会に講師を派遣

7月8日 一関第一高等学校（204名）

講師：ILC推進局職員

10月4日 盛岡第一高等学校（283名）（オンライン）

講師：理化学研究所 主任研究員／蘭州大学 教授 齋藤武彦氏

ILC推進モデル校は全県的取組を休止し、年度末の成果交流会を中止

高校生科学・工学コンテスト及びコンテスト優勝校による先端研究施設派遣研修を中止



11/30 研究者による研究活動のフォローアップ
（盛岡第一高等学校）

(イ) 小中学校での出前授業の実施【盛岡広域振興局、県南広域振興局と連携】

盛岡市（5回）、滝沢市（1回）、矢巾町（1回）、雫石町（1回）

花巻市（1回）、遠野市（1回）

二戸市（1回）、一戸町（1回）

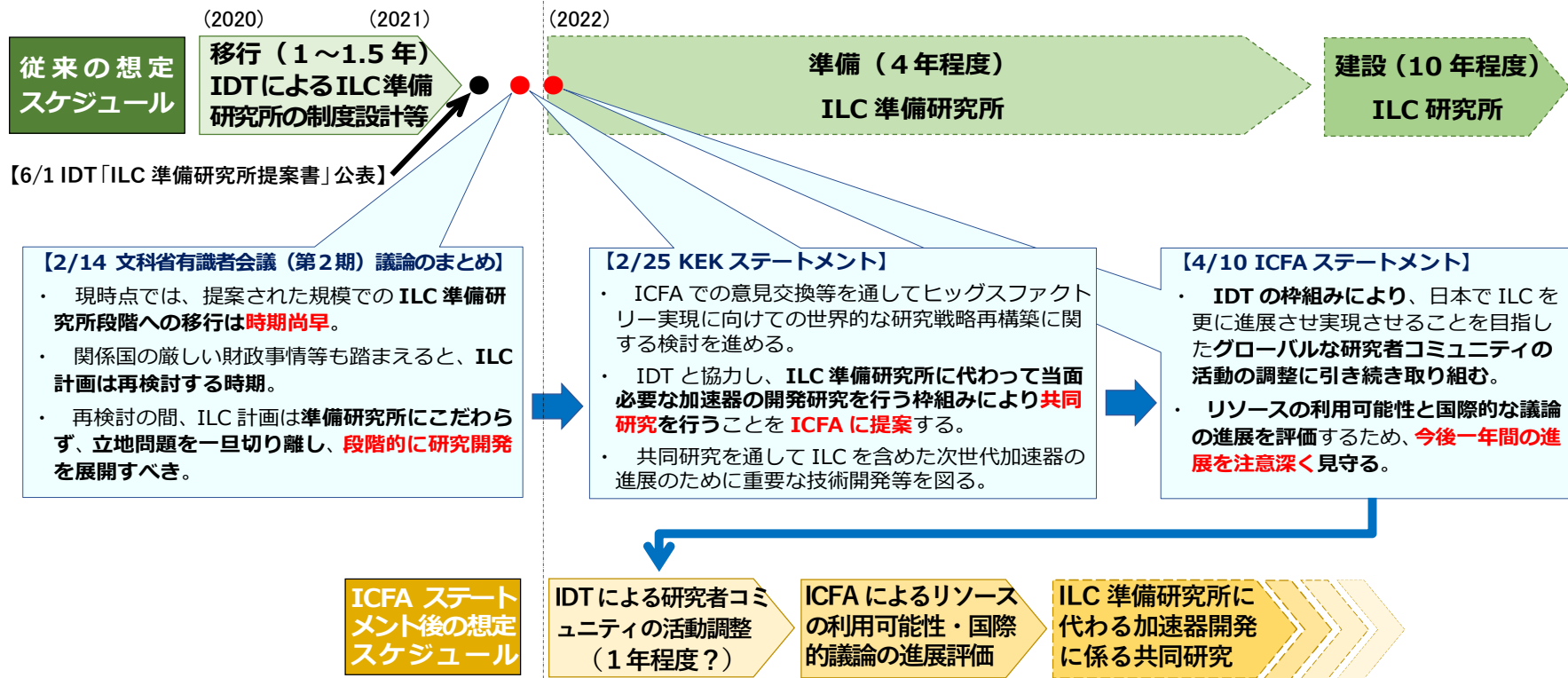


10/30 出前授業（盛岡中央高校附属中学校）

3 令和4年度における ILC 推進の具体的な取組内容

(1) 基本方針

- ILC の実現に向け、日本政府主導による国際的な議論と国民理解が進むよう、関係機関と連携して取り組む。
- 「いわて県民計画（2019～2028）ILC プロジェクト」を推進し、産業振興や地域の多文化共生など、ILC の実現効果を高めるよう受入準備を促進する。



- 県の対応の考え方**
- ① ILCをホストすることについての日本政府主導による国際的な議論の更なる推進
 - ② 令和5年度概算要求における、国際協力による加速器の研究開発費等の措置
- 国会議連、与党に対する要望強化 (東北ILC推進協、北東知事会等との連携)
 - KEK、ILCジャパン、研究者コミュニティ等との密接な情報交換

令和4年度想定スケジュール

	6月	7月	8月	...	12月	...
国の動き	骨太の方針	参院選	概算要求		政府予算案決定	
県の取組	政府予算要望					

(2) ILC 実現に向けた取組

現状と課題	取組の方向性
<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年6月のILC国際推進チームによる「ILC準備研究所提案書」の公表等を受けて文部科学省が7月に再開したILCに関する有識者会議（第2期）が令和4年2月に「議論のまとめ」を公表。 ○ 令和4年4月、ICFAは、次の内容を含むステートメントを公表。 <ul style="list-style-type: none"> ・ IDT（ILC国際推進チーム）が、来年にかけて日本でのILCのさらなる進展と実現を目指した調整を行う。 ・ リソースの利用可能性と国際的な議論の進展を評価するため、今後一年間の進展を注意深く見守る。 ○ KEK（高エネルギー加速器研究機構）は、上記有識者会議及びICFAステートメントを踏まえ、国際コミュニティとともにILC実現に向けて努力するとしている。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ILCをホストすることについての日本政府主導による国際的な議論の更なる推進 ○ 令和5年度概算要求における国際協力による加速器の研究開発費等の措置、骨太の方針への記載 ○ 建設候補地として必要となる受入環境整備 ○ 国民・県民理解の増進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ILC計画の実現に向け、国等への要望を実施 【主な要望項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係省庁横断による連携の強化 ・ 国際協力による加速器の研究開発費等の予算措置 ・ 日本政府主導による国際的な議論の更なる推進 【要望方法等】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 概算要求に向けた政府予算要望、政党への要望 ・ 北海道・東北地方知事会、全国知事会による要望 ・ その他推進団体との連携による要望 ○ ILC計画の進捗を踏まえ、建設候補地として研究者の取組を支援 【東北 ILC 事業推進センター令和4年度事業計画（案）】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地形・地質調査、施設配備検討 ・ 物流、組み立て拠点等の研究・検討 ・ まちづくり、受入環境整備に向けた検討 ・ 加速器関連産業の振興方策の検討 ・ グリーン ILC についての検討 など ○ 国民・県民理解の増進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 普及啓発の推進（講演会・研修会等の開催） ・ 地域住民を対象とした説明会等の実施（解説セミナーの開催） ・ イベント等への出展によるPR （ニコニコ超会議、真空展2022ほか） ・ 国内外に向けた情報発信 （Twitter、Facebook、THE KITAKAMI TIMES）

(3) ILC プロジェクトの推進

現状と課題	具体的取組内容
<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ILCの実現及び ILC の多様な効果の地域への波及に向け、いわて県民計画（2019～2028）に掲げる ILC プロジェクトを全庁挙げて推進するため、岩手県 ILC 推進本部を設置し、部局横断の取組を推進。 ○ ILC プロジェクトを推進する方向を示す戦略として策定した「ILC による地域振興ビジョン」に基づき、受入準備、関連産業の振興や人材育成等の取組を推進。 	
<p><課題></p> <p>1 国際研究拠点の形成支援と研究開発を目指す人材の育成</p> <p>(1) 国際研究拠点の形成支援</p> <p>(2) ILC での研究開発を目指す人材の育成・輩出</p> <div data-bbox="107 991 595 1155" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【分科会構成部局】 ふる・環境・商工・県土・ 県南局・県警・ILC</p> </div>	<p>1 国際研究拠点の形成支援〔まちづくり・インフラ整備分科会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 県内港湾を活用した機材搬送に係る広域的な計画の具体化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大船渡港の活用を見据え、研究者の機材搬送に係る広域的な検討状況に応じた個別の対応方策を具体化 ➢ ILC を契機とした居住や交通、エネルギー等に関する地域の将来まちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手大学、東北 ILC 事業推進センター、AAA との共同研究により、センター構成市町等と連携しながら ILC まちづくりモデルケースの策定に向けた検討を実施 ・ 事業者等による環境影響評価の実施に向けた意見交換等を継続 ➢ 県内企業の参入促進に向けた、関連企業の技術力向上と人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ いわて加速器関連産業研究会による技術セミナーを実施 <div data-bbox="730 1300 1964 1493" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【主な予算事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界と岩手をつなぐ地域の国際人材育成推進事業費【ふる】 ・ 住みたい岩手の家づくり促進事業【県土】 ・ ILC 推進事業費【ILC】 等 </div>

現状と課題	具体的取組内容
<p data-bbox="114 225 551 260">2 イノベーションの創出</p> <p data-bbox="132 284 613 319">(1) イノベーション拠点の形成</p> <p data-bbox="132 363 649 459">(2) 加速器関連産業の集積地域の形成</p> <div data-bbox="129 523 640 687" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p data-bbox="163 536 432 571">【分科会構成部局】</p> <p data-bbox="174 579 510 655">ふる・商工・盛岡局・ 県南局・ILC</p> </div>	<p data-bbox="712 225 1458 260">2 イノベーションの創出〔産業振興分科会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="734 284 1921 319">➤ 県内企業の参入促進に向けた、関連企業の技術力向上と人材育成 【再掲】 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="775 344 1682 379">・ いわて加速器関連産業研究会による技術セミナーを実施 <li data-bbox="734 403 1518 438">➤ ILC に関連する技術・研究成果の産業化の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="775 464 2130 557">・ 専門知識のある加速器コーディネーターを配置し、企業訪問や研究機関等とのマッチングを実施。大手企業や研究機関との関係構築に向けたセミナーを開催 <li data-bbox="775 582 2130 732">・ 岩手 ILC 連携室オープンラボに試作品評価用の装置やリモート会議設備等を整備し、研究者と企業の共同開発、技術者や設計者向けの技術指導、国内外研究者との交流等を実施 <li data-bbox="775 758 1854 793">・ 産学連携の基礎づくりに向けた県内大学等による意見交換等を継続 <div data-bbox="763 898 1895 1137" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p data-bbox="801 911 1032 946">【主な予算事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="824 956 1509 991">・ いわて戦略的研究開発推進事業費【ふる】 <li data-bbox="824 1000 1543 1035">・ AI 人材育成・社会実証推進事業費【商工】 <li data-bbox="824 1045 1682 1080">・ ものづくりDXシステム導入支援強化事業費【商工】 <li data-bbox="824 1090 1480 1125">・ ILC 推進事業費【ILC】※再掲 等 </div>

現状と課題	具体的取組内容
<p>3 グリーン ILC（環境、エネルギー）によるエコ社会の実践</p> <p>(1) 県産材利用等による地域の持続可能性の向上</p> <p>(2) ILC からの排熱エネルギー等の利活用</p> <div data-bbox="107 630 683 734" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【分科会構成部局】 環境・農水・県土・県南局・ILC</p> </div>	<p>3 ILC によるエコ社会の実現〔グリーン ILC 分科会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ ILC 関連施設への県産木材の活用の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ ILC の建設に伴う森林資源の活用方法等について検討 ➢ 排熱利用などのグリーン ILC の展開と県民理解の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 蓄熱吸着剤（ハスクレイ）による排熱輸送について、令和 3 年度のフィールド実験の結果を踏まえ、実用化に向けた装置（容器・放熱システム）の改良等を実施 ・ グリーン ILC セミナーの開催等による普及啓発、グリーン ILC に関するリーフレットによる P R <div data-bbox="757 710 1886 906" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【主な予算事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 再生可能エネルギー導入促進事業費【環境】 ・ 木質バイオマス熱電利用促進事業費【農水】 ・ いわて住まいのカーボンニュートラル推進事業【県土】 ・ ILC 推進事業費【ILC】※再掲 等 </div>
<p>4 国際性豊かで便利な暮らしやすいコミュニティの形成</p> <p>(1) 外国人研究者・家族及び地域住民が暮らしやすい社会の実現</p> <p>(2) 外国人研究者・家族と地域住民が共生する多文化コミュニティの形成</p> <div data-bbox="129 1348 672 1492" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【分科会構成部局】 政企・ふる・保福・県南局・医療局・教委・ILC</p> </div>	<p>4 外国人研究者等の受入環境整備〔居住環境、医療、教育分科会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 外国人研究者等の生活環境整備、外国人子弟の教育受入 <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係自治体と連携した国際支援オフィス（ワンストップサービス）のモデル案の検討 ・ 外国人研究者等の子弟の教育について、ILC 計画の進展に対応した具体的な受入準備工程を検討 <div data-bbox="757 1236 1886 1476" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【主な予算事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域多文化共生推進費【ふる】 ・ 外国人患者受入環境整備等推進事業【保福】 ・ 多文化共生推進による ILC 受入態勢整備事業【県南局】 ・ ILC 推進事業費【ILC】※再掲 等 </div>

現状と課題	具体的取組内容
<p>5 ILC を活用した交流人口の拡大、科学技術教育水準の向上</p> <p>(1) ILC を活用したサイエンスツアーリズムやエコツアーリズムの展開</p> <p>(2) 地域の科学技術に関する教育水準の向上</p> <div data-bbox="125 663 649 831" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【分科会構成部局】 ふる・農水・商工・県南局・ 教委・ILC</p> </div>	<p>5 交流人口の拡大、科学技術教育水準の向上〔地域資源活用、教育分科会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 海外に向けた情報発信強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ THE KITAKAMI TIMES や SNS による、ILC に関する情報及び岩手の魅力（食や観光、岩手での生活）の発信 ➤ 機運醸成、理解促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ ILC 講演会（平泉黄金文化×北上山地×ILC）を開催 ・ 小中学校での出前授業の実施、オープンラボ見学受入 ➤ 高校生を対象とした ILC に関連する分野で活躍する人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生を対象とした科学講演会、科学・工学コンテストの開催及び ILC に関係する専門家など講師派遣を実施 <div data-bbox="786 868 1921 1106" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【主な予算事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 科学技術普及啓発推進事業費【ふる】 ・ ILC 機運醸成事業【盛岡局】 ・ 進学支援ネットワーク事業費【教委】 ・ ILC 推進事業費【ILC】※再掲 等 </div>